

〒400-0032 山梨県甲府市中央1-1-11-2F  
電話055-237-5523 FAX055-237-5281  
http://www.akaike.com ma@akaike.com



# 赤池まさあき 国政ニュース

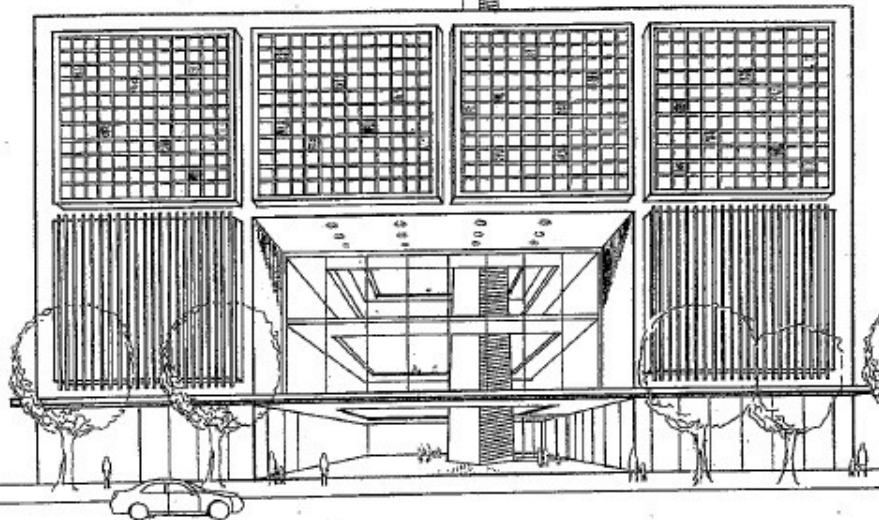
## 国立美術館の誘致を

### 今からリニア新駅に合わせた街づくりを

リニア中央新幹線の建設工事が、二〇二七年の開通目指して、急ピッチで進められています。駅は、東京都品川新駅、神奈川県相模原市橋本、山梨県甲府市大津、長野県、岐阜

県中津川市、愛知県名古屋駅地下となります。JR東海が企業の存亡をかけて取り組む、東海道新幹線のバイパス鉄道の建設です。リニアの時は五〇五キロ、開通は二〇二七年十五年後です。整備費は名古屋まで五兆円、大阪まで延ばされれば九兆円の大プロジェクトです。

文化庁「国立メディア芸術総合センター」イメージ図



リニア中央新幹線が開通しても、それだけでは地域は活性化しません。今から、リニア中央新幹線を沿線地域が

どのように活用するのか、街づくりのビジョンが求められています。●リニア新幹線の経緯 中央新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づき、昭和四十八(一九七三)年に基本計画が承認されました。ちょうど石油シヨックの年でした。その後、全国各地の整備新幹線が少しずつ推進されてきました。中央新幹線はなかなか動き出しませんでした。それが、ようやく動き出したのが、平成二(一九九〇)年であり、国から地形・地質調査の指示が出されます。それを

受ける形で、JR東海は、中央新幹線を超電導リニアモーターカー方式とすべく、山梨県に実験線の建設を開始します。平成九年から走行実験を繰り返して、実用化の目的を見つけて、平成十九(二〇〇七)年にJR東海は、自己負担でのリニア中央新幹線の建設を表明します。国の財政難の中で、JR主導のリニア中央新幹線の整備は、いっしょに進みます。そして、昨年五月二十七日に、国から中央新幹線の建設の指示が出されたのでした。そして、六月七日に、計画段階の「環境影響配慮書」をまとめ、公表したのでした。その中に、中間駅の候補地が書かれていました。●課題は山積 リニア中央新幹線構想は、最近暗い話題が多い中で、前向きな話です。ただ、実現に向けて、課題は山積です。まずは、JR東海という民間会社が自己負担で建設するわけで、二十年近い長期に渡ることに対して、財務基盤や環境変化の中で、持続可能性への懸念が表明されています。国の関与が求められるのであります。ただ国が関与すると、財政難の中で、迅速な建設が逆にできなかつたという指摘もあ

〒400-0032 山梨県甲府市中央1-1-11-2F  
電話055-237-5523 FAX055-237-5281  
http://www.akaike.com ma@akaike.com



# 赤池まさあき 国政ニュース

(2ページから続く)

り、痛し痒しのところがあります。

第二の課題は、リニア新駅のアクセス、周辺整備、街づくりの推進です。新幹線の事例をみて分かる通り、駅ができればそれで地域が活性化されるわけではありません。特に、高速度道路と違って、新幹線は物を運ばず、人しか運ばません。人が移動し、交流することによって、地域が活性化される街づくりの構想、計画を今から議論し、準備し、立案して、推進していかなければ、駅ができて、リニアが開通しても、周辺は何もないということになりかねません。まさに、地域の英知の結集が求められています。

智慧あるところは栄え、智慧なしところは通過するだけです。「ストローク効果」と呼ばれるように、大都市部に吸い出されてしまつて、地域の活性化もままなりません。

## ●地域活性化の四原則

私は全国各地の地域活性化を研究して、四つのポイントがあると思っています。「AINE」原則です。

第一原則のAは、エリ

丹念に調べることが重要です。

第二原則のIは、インターネット(知恵)の活用です。情報(インフォメーション)が洪水のように溢れる

第四原則のEは、アン

文化庁「国立メディア芸術総合センター」面積配分表

区分	所要面積(m <sup>2</sup> )	備考
収蔵庫	約 1,100	メディア芸術作品が収蔵できる仕様とする
展示室	約 3,100	常設展示、企画展示、貸出しに弾力的に対応可能とする
展示準備室	約 200	メディア芸術作品のコンテストの審査等にも対応
上映ホール	約 800	上映・各種催事、字幕・高音声に対応
教育・研究	約 400	工房、ワークショップ等に対応
会議室・研修室	約 400	研究者等が様々な用途に使えるように配慮
ライブラリー等	約 300	インターネット検索コーナー、図書閲覧等
レストラン・カフェ	約 200	(含業の場合は不要の場合あり)
機械室等	約 900	空調機械室、電気室、総合監視室等
駐車場	約 700	一般来訪者用、作品の搬入・搬出用(含業の場合は不要の場合あり)
搬入搬出場	約 400	大型車による搬入・搬出、大型作品の搬入・搬出に対応
事務室	約 400	事業部門、管理部門等
その他	約 1,100	サロン、廊下等の共通スペース
合計	約10,000	

ア・アイデンティティ(地域の独自性)の確立です。地域には必ず何らかの独自性があり、その独自性を確立しなければ地域間競争には生き残れないということです。歴史や地理を

現代の中で、その情報から本当に地域おこしに必要な知恵を取捨選択し、昇華させていかなければいけません。

第三原則のNは、ネットワークの構築です。地域だけで何か物事をやろう

としても、限界があるわけで、中央や外部の資源(人物カネ情報等)を活用して、合わせ技が大切だという視点です。

## ●六番目の国立美術館

それを今回の山梨に当てはまると、私は「六番目の国立美術館の誘致」を提案したいと思っています。この構想は、麻生内閣時にリーマンショック対策の十五兆円の補正予算の中で計上されたもので、百二十億円で提案された「国立メディア芸術総合センター」建設構想です。民主党からは「麻生総理が漫画好きで始めたもので、国営マンガ喫茶」と揶揄され、政

権交代後に事業仕分けにかかり、あっさり葬りさられてしまいました。

この構想は、平成九年から毎年、マンガやアニメなどのメディア芸術の国際コンテストが日本で開催され、世界五十カ国以上からの応募があり、高く評価されてきました。

課題は、世界から応募された作品の常設展示場がなかったことです。そこで、東京(三)、大阪(一)、京都(一)に続く六番目の国立美術館として構想され、さらに展示機能だけでなく、人材育成機能も加味されて、総合センターとして計画されたのです。土地面積が二十五百mあれば、年間六十万の人が訪れるのです。

この構想を、リニア中央新幹線建設にあわせて、山梨の活性化、日本のソフトパワーの世界への発信のために、復活させるべきです。ミレーのある地方美術館の先駆けとなった山梨だからこそ必要だと思ふのです。富士山には、リニアとメディア芸術がよく似合うと思います。(赤池まさあき)